

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

21
174

(M)

英國憲法

始



林
正明譯述

英國憲法
全

321

174

033.3

321
174

林 正明譯述

英國憲法

明治六年 孟春 求知堂藏版



27636

英國憲法序

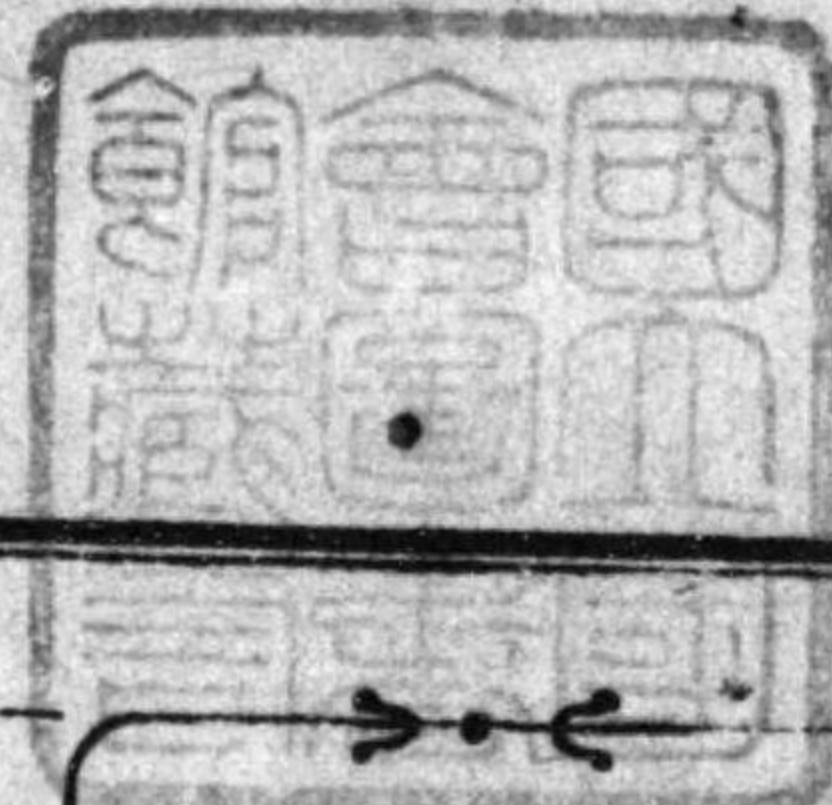
孟子曰ク人ノ性善ナリト人其稟ル所ノ性善ニ
メ其善ナル者益然ト發スレハ則言誠ナラサル
無ク行正シカラサル無シ天下ノ人ヲメ盡ク其
性ヲ存シテ失ハシラシメハ干戈動カス海内平
治ナル可シト雖也其情ニ發スル者善アリ悪
アリ邪アリ正アリ悪ナル者善ヲ害シ邪ナル者正
ニ勝チ大ニ自由自主ノ權ヲ妨ケ天下ヲメ騷然
タラシムルニ至ラン故ニ政府ナル者之レカ上

英國憲法

一

033.3

321
174



林 正明譯述

英國憲法序

明治六年 求知堂藏版
孟春

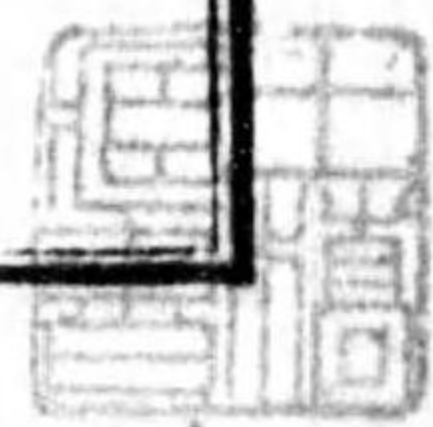


27636

英國憲法序

孟子曰ク人ノ性善ナリト人其稟ル所ノ性善ニ
メ其善ナル者益然ト發スレハ則言讖ナラサル
無ク行正シカラサル無シ天下ノ人ヲメ盡ク其
性ヲ存シテ失ハサラシメハ干戈動カス海内平
治ナル可シト雖其情ニ發スル者善アリ惡ア
リ邪アリ正アリ惡ナル者善ヲ害シ邪ナル者正
ニ勝チ大ニ自由自主ノ權ヲ妨ケ天下ヲメ騷然
タラシムルニ至ラン故ニ政府ナル者之レカ上

英國憲法序



ニ坐シ繁然ト禮樂刑政ヲ設為シ善ヲ勸メ惡ヲ懲シ邪ヲ除キ正ヲ祐ケ以テ天下ノ人民ヲメ自由自主ノ權ヲ有タ令メサル可ラス然ハ則チ政府ハ人民ノ為メナリ果メ人民ノ為メナレハ其政體ニ關セス風土ニ應シ人情ニ戾ラス時措ノ宜ヲ得其國富強ノ域ニ進ム者ハ真ニ良政ト謂フ可シ或人曰ク王政ハ王獨リ政權ヲ玩シ恣ニ下民ヲ虐ケ下情上ニ通セス上情下ニ達セス其弊害至ラサル所無シト吁乎何ヲ言フ乎陋亦甚シ今海外諸邦政體同シカラス共和政治ナル者

アリ貴族共治ナル者アリ君主專治ナル者アリ其趣ヲ異ニスト雖モ王政ノ下及テ共和政治ノ民ヨリ自由自主ノ權ヲ得ル者有リ英國ノ如キ是ナリ余故曰ク政體ニ關セス天下人民自由自主ノ權ヲ得其國富且強ニ進ム者真ノ良政ナリト世ノ政學ニ志ス者宜ク之レニ注意ス可シ之ヲ序ト為ス

明治六年孟春中浣 林 正明 識

英國憲法 林 正明譯述

英國ノ憲法ニ於テハ其議政ノ全權ハ議院ニ在
 リ議院ノ權力ハ過テ上ナク抑ヘテ制セス限リ
 テ定ルナク其事ノ淵源其人ノ事業境内ニ經
 界シカタシ又政治ノ体裁如何ニ拘ラス不羈專
 裁ノ權力宜シク歸着スル所アルヘク英國ノ憲
 法ニ由テ之ヲ議院ニ附與ス而ノ國王ハ議院
 ノ長ナル而已ナラス又其終始ナリ王獨リ能ク
 之ヲ召フヘク王死テ繼王未タ立タサルノ際

英國憲法

ニ當テ止ムヲ得ス會合スルニ非サレハ其議院ノ意ニ隨テ猥リニ集會スヘカラス王樞密議官ノ勸メニ由テ大璽官ヲシテ令ヲ出サシメ少クハ集會前三十五日内之ヲ召スヘシ若シ開會中欠官アルキハ王令ヲ出シテ新員ヲ撰ヒ又閉院中欠官アルキハ議長令ヲ出シテ其員充クシムヘシイドワード三世ノ時ニ際テ定メタル法ノ十四條ニ議院一年ニ一度或ハ二度集合スヘキ例アリ又三十六條ニ毎年會合スヘキ例アリ

「チャールズ」一世ノ時ニ定メタル法ノ十六條ニ

王若シ三年ノ間會ヲ召サレハ大璽官貴族及ヒ庶人ヲ選フノ令ヲ下スヘク若シ大璽官其事ヲ怠タラハ貴族十二人集リテ議員ヲ召フヲ得ヘシ其貴族モ亦之ヲ召ノヲ怠タラハ府縣ノ法令ヲ行フ官裁判ヲ掌ル官各選舉ノ令ヲ發スヘシ此諸官モ亦其務ヲ怠タラハ各府ノ庶民其議員ヲ選フヘシ又其選舉ヲ受タル議員若シ怠テ出ザルトキハ過料ヲ當テ速ニ其會ニ列ラシムベシ然レトモ「チャールズ」二世王政ヲ中興セシ后此法甚タ王權ヲ抑制スト為シ之ヲ廢ス

ト雖其後ニ登テ議院ヲ閉ル^ト永クモ三ク年
 ヲ越ユヘカラス又ウリヤム^{一世及ヒノ}リヤノ
 時ニ方テ議員屢會同スヘキ法ヲ立テタリ然レ
 氏英國革命以來^トムテニアクト^{陸兵或ハ水夫等}
 或ハ士官其權ヲ仰カサル等^{其時ノ命ニ背キ}
 ノ事アリ^ル之ニ應スルノ法ヲ用ルモ國用ヲ給
 スルモ只一年間ナルヲ以テ王モ亦止ムヲ得ス
 年々議員ヲ會セサルヲ得ス又憲法ノ基礎タル
 故權旧格ニ由テ下院專ラ租稅ノ事ヲ掌リ其意
 ニ隨テ之ヲ定メ王ノ令ト雖モ理ニ當ラサレハ
 之ヲ許サ^ルノ權アリ而シテ議院近來ハ歲ノ

始メ六ヶ月ノ間年々會合スルノ例ト成リ各會
 當ニ延會ノ例ヲ以テ終ルヘク未ク決セサル議
 案ハ都テ其院ヲ閉ル時ニ止ミ議政兩局モ必ナ
 ラス同時ニ終ルヘシ而シテ王親ラ來リ或ハ名
 代ヲ遣リ又令ヲ出シテ院ヲ開ツヘシ而シテ下
 院ノ議員其院内ニ集リ王若シ其前ニアラハ下
 院ノ議長集會中其為セシ事ヲ述ヘ而ル后チ王
 閉院ノ議案ニ許ヲ與ヘ王ノ告諭ヲ讀ミ其上ニ
 テ上院議長日ヲ限リ其會ヲ止ムヘシ然レモ王
 若シ令ヲ出シテ之ヲ召ス時ハ元ト定ムル延會

ノ期ヨリ早ク議員會合シテ其事ヲ執ルヘシ又
開院ノ期過キ王其興會ノ令ヲ下サ、ル時ト雖
モ議員已ノ意ヲ以テ集會スルヲ得ス而シテ王
議員ヲ集メ其事ヲ執ラシムルニハ集會ノ六日
前令ヲ出スヘシ又散會トハ議員ヲ解クニシ
テ王自ラ臨シテ之ヲ陳ヘ或ハ名代ヲ遣リ又開
院中ノ定例ニ隨テ布告ヲ出スモ扨テ王ノ隨意
ナリ或ハ會合ノ期過レモ集會ノ令下ラサル時ニ
於テ之ヲ為スヘシ又王歿シ或ハ廢セラレ其位
空シキ時ハ嘗テ議院其實ニ因テ解クシトアリ

ト雖モ「ウリヤム」三世ノ世ニ於テ之ヲ改革シ新
王即位ノ后六ヶ月迄ハ其會ヲ延スニアリト雖
モ敢テ散會トセス又一千八百六十七年ノ改革
ニテ後來何等ノ事ニテ國王其位ヲ空フスルト
モ王之ヲ解クニ非レハ議院必ナラス其會ヲ保
ツヘシ然レモ王ノ空位ト散會及ヒ令ヲ出シ日
ヲ剋シテ新員ノ會合ヲ促ス間ニ於テ繼王之ヲ
延シ或ハ散スルニ非レハ直ニ前員集會シ六ケ
月ノ間其事ヲ執ルヘシ
上下兩局ニ分ラタル方今議員ノ体裁ハ「イドワ

一、二世ノ時ヨリ肇リ共和政治ノ間ヲ除クノ外
常ニ上下兩院ノ議會ヲ建ルヲ以テ憲法ノ基本
トセリ上院ノ議員左ノ權ヲ以テ其會ニ列ナル
ヲ得ヘシ

第一 世襲ノ權

第二 功勞ニ由テ王ヨリ賜フ貴爵ノ權

第三 役權英僧正ノ如シ

第四 生涯選舉ノ權愛貴族ノ如シ

第五 一會中選舉ノ權蘇貴族ノ如シ

古ハ貴族ヲ議院ニ出スヲ促ス一全ク王ノ意ニ

出タリ又カムデン氏ノ説ニ從ヘハ、ウエシヤ山ノ戰後別
ニ許シテ受ケサレハ、貴族議院ニ出ルヲ禁セ
リ然レニ世襲ノ貴族ハ必ずラス上院ニ出ルノ權
アリト主張セシハ一朝ノ事ニ非ス祖先召令ニ
依テ議員ニ列リシ證ヲ表スル者ハ世襲貴族ト
シテ會ニ出ルヲ得王令ヲ下シテ新タニ貴族ヲ
立テ其定例ニ從ヒ公令ヲ出シテ貴族ヲ集メ其
事ノ宜シキヲ議論シ又召令ヲ以テ貴族ノ出會
ヲ促カシ其促ヲ受ケタル人上院ニ出ルヤ否ニ
係ラス貴族ノ權ヲ得ヘシ又貴族上院ニ出ルノ

許シヲ受クハキ人ナルヤ否ニツキ疑ヒ起ルキ
ハ内國事務宰相等ニ由リ其召令ヲ王ニ乞ヒ刑
法總裁其願ヒヲ扶ケ王若シ之ヲ免ルスノ意ア
ラハ通常其事ニ從ヘレ若シ事疑ハシキハ王
之ヲ上院ノ議ニ下シ其院ニテハ特務ノ人ヲ選
ビ之ヲ議シ書ニ由テ其意ヲ述ヘシム可シ而ノ
世襲貴族ハ上院ノ定則ニ從ヒ佗ノ手數ヲ經ス
其席ヲ取ル可シ然レハ樞要官其議ヲ起シ一千
八百六十八年三月三十一日始メテ其法ヲ立テ
上院ノ議員名代ヲ以テ「グレート」ヲ出スノ權ヲ預ム

新ニ貴族ヲ立ルハ王ノ特權ニシテ聊限制ス
可カラス當政府其特權ヲ用ヒテ上院ノ議員ヲ
滿タセリ
「ア」ト治世即チ英蘇聯合ノ時立テタル定法第
五條ノ約ニ依リ其項蘇格蘭スコットランドニ在リシ貴族ヘ其
名代貴族撰舉ノ法ヲ限制シ王新ニ蘇貴爵スコットヲ立
ルノ權ナク又其實王家ノ枝族ニアラサレハ曾
テ其權ヲ用ヒシナシ但シ既ニ絶ヘタル貴族
ヲ興シ或ハ没収シタル貴爵ヲ復スル等ハ此例
ニ非ス「ジョージ」三世治世即チ英愛合併第三十

九條ノ約ニ王新ニ愛貴族ヲ立ルノ權ヲ限リ其
項愛爾蘭ニ在リシ貴族三人絶ユル毎ニ一人ヲ
立ル^トニ定メタリ然レ其貴族百ニ減少スル
キハ一員絶ユル毎ニ一員ヲ立テ其數ヲ滿タス
ヲ得可シ

一千八百七十一年ノ會議ニ於テ上院ノ議員四
百七十六人アリ其内四人ハ王統ノ貴族ニシテ
二人ハ大僧正^{グレート・ベネディクト}二十人ハ公^{バイキング}十九人ハ候^{バロウ}百九人ハ
伯^{バロ}二十三人ハ子^{ソノ}二十四人ハ僧正^{ベネディクト}二百三十一人
ハ男^{バロ}十六人ハ蘇^{スウ}名代貴族及ヒ二十八人ハ愛^{アイルランド}名

代貴族ナリ此貴族ノ員中幼若ナル者アリ^{二十}
^{以下}又世襲ノ權ト役權トヲ兼テ其席ニ出ル
者アリ而ノ一千八百三十年上院議員ノ數ハ四
百九十三人ニメ一千八百四十年ハ四百五十七
人一千八百五十年ハ四百四十八人一千八百六
十年ハ四百五十八人一千八百七十年ハ四百七
十三人アリシ此世襲貴族三分ノ二ハ當世^{百年}
^テニ於テ立テタルモノナリ其内最古キ貴族
ハ一千二百七十年ノ頃ヨリ始リ其四ハ一千三
百年ニ起リ其七八一千四百年ナリ一千五百

年間ノ貴族中ニテ今十二人存シ一千六百年間
ニテ三十五人一千七百年間ニテ九十五人及ヒ
當世ニテ二百三十五人アリ

一千八百三十年ヨリ一千八百七十一年迄四十
一年ノ間ニ百七十八人ノ新員立テリ即チ三十
四人ハ「アールクレ」三十五人ハ「ロールドイルブラー
ル」十一人ハ「サーローベルトビル」二十四人ハ「ア
ールロツセル」三十三人ハ「ワイコントバームストン」二十
五人ハ「アールヲテルビー」四人ハ「ミストルデイゼリー」
及ヒ十八人ハ「ミストルグラッドスローン」執政ノ時

ナリ

夫レ下院ハ國中衆庶ニ代リテ其政ヲ議スル所
以ノモノニシテ「ヘスリー」三世第四十九條ニ因
テ初メテ其集會ヲ許ルシイットマン郷士或ハ縣ノ名代人
若クハ府民或ハ其名代人等會同メ共ニ其事ヲ
高議シタリ一千四百二十九年「ヘスリー」四世郷
士撰擧ヲ整シカ為メ定法第四條ヲ立テシヨリ
議院ニテ許多ノ定法ヲ立テタリ而シテ其法出テ
シ前ハ王令ヲ下シテ撰士並ニ撰擧ニ違フ可
キ人ノ數及ヒ其人ト為リ等ヲ限制スルヲ得太

夕擅横ノ權アリシト又縣撰ノ法ハ則チ府ヨリ
モ稍正シク其規則モ亦煩ハシカラス各縣ヨリ
二人ヲ撰ヘリ而シテ府ノ撰士ヲ定ルノ法常ニ
一ナラス殊ニ合併ノ府ハ古俗旧許及ヒ特權等
ニ依リ其數大ニ差ヘリ「イドウアード」一世ノ時ヨ
リ「イドウアード」四世迄其許シヲ受タル府撰士ノ
數百七十人アリ「ヌリー」八世即位ノ時ニ於テ
府縣撰士ノ全數百四十七人ニ減シ其頃「ウエール
ス」ノ名代人加ハリシヨリ撰士ノ數大ニ増シ王
政再興迄府ノ撰士益増加セリ是ヨリ前キ議

員其撰士ヨリ給料ヲ受ケシト雖凡議員自ラ費
用ヲ支ユル習慣トナリシヨリ嘗テ貧フシテ之
ヲ給スル能ハサルヲ以テ名代人ヲ遣ル「イドリ
省」レタル旧府再ヒ其權ヲ得シ「イドリウ
アード」四世ヨリ「チャールス」一世迄加ハリシ者
多クハ府員ナリ「チャールス」一世第四議會ニ「イ
ンギランド」ウエールス府除クヨリ議員ヲ遣リ
シ撰士ノ數二百十人アリ「スチユワル」止家ノ特
ニ於テ下院議員ノ全數大約五百人アリ「アーン」
女王ノ世ニ當リテ蘇格蘭ヲ合併シ四十五人ヲ

加へし而已ニテ其時ヨリ議員ノ數大ニ變ル
 ナシ次ノ一大變ハ一千八百年間ノ初ニ於テ愛
 爾蘭ヲ合併セシ時ナリ其時ヨリ下院ノ議員愛
 名代人百人ヲ以テ増シ其後新ニ議員ヲ撰フ處
 作コシ大學校且議員撰擧ノ權ヲ衆ニ廣ムル
 ニ依テ逐次増加スト雖此以來下院ノ議員ノ數
 六百五十内外ニシテ大ニ變ルナシ通常改革
 議案ト稱スル「ウイールヤム」四世第二ノ定法ニ依
 テ數縣ヲ分チ別ニ議員ヲ撰ハシメ英縣撰士ノ
 數五十二人ヨリ八十二人ニ増シ縣員ノ全數九

十四人ヨリ百五十九人ニ及ヒ蘇蘇格蘭及ヒ愛愛爾蘭縣ノ名
 代人ハ前ニ同シ此改革定法ニ提レハ一千八百
 三十一年ニ於テ人口各二千以下ニシテ共ニ議
 員百十一人ヲ遣リシ五十二ノ英府全ク議員撰
 擧ノ權ヲ失ヒ各四千以下アル他ノ三十府名代
 人二人ノ代リニ一人ヲ遣ルト成レリ然レモ
 各二万五千人アル二十二ノ新府ニ員ヲ遣ルノ
 權ヲ得又一万二千人アル他ノ二十新府一員ヲ
 遣ルト得而シ蘇ノ府員十五ヨリ二十三ニ増シ
 蘇格蘭合併ノ時定メタル數ヨリ多キト八人ナ

リ一千八百三十二年ノ定法ニ就キ下院議員ノ
撰擧大ニ變更セシハ一千八百六十七年及ヒ一
千八百六十八年ノ改革ナリ「インギラント」ニ於テ
此新法最 緊要ナルモノハ第三條並四條ニシ
テ甲法以テ縣中撰擧ノ法ヲ立テ乙法以テ府中
撰擧ノ法ヲ定ム而メ第三條ノ定法ニ由テ縣人
各「ウラ」ト出ス事ヲ其戸籍ニ記シ其上ニテ
左ノ條件ヲ以テ其議員ヲ撰フ可シ

第一二十一歳以上ニシテ總テ法律上障礙無キ
人ケ外人ニ死罪ニ生セラレ若シクハ獄ニ救恤ヲ受

ルニテ法律前故障アリ人ニ及ビテ云フ

第二府内住家ヲ持チ或ハ借リ毎年七月晦日且
撰擧ヲ受ケタル年ノ十二ヶ月間其家ニ居ル人
第三縣内住居ノ間尋常住人ニ依テ拂フ可キ貧
民救恤稅ヲ其所有ノ品ニツキ同ク之ヲ拂フタ
ル人

第四同年七月二十日前尋常住人ニ依テ拂フヘ
キ貧民救恤稅ノ封度ヲ以テ同正月五日前其所
有ノ品ニツキ同ク之ヲ拂フ可ク其規則ハ左ノ
如シ

縣ニ居ヲ分ツテ住ミ而メ七月晦日前十二ヶ月
 間獨リ其居ヲ借り同家ニ住ミ其居ハ一家或ハ
 同家ノ部ニメ家内諸具ヲ除キ年々一封度以上
 ヲ價スル家ニシテ七月晦日前十二ヶ月間之ニ住
 ヒ而ノ「ウ」ヲ「ト」ヲ出ス者ト云フ「ト」ヲ其戸籍
 ニ記シタル人

但シ地方ニ於テ一家同居スルヲ以テ「ウ」
 「ト」ヲ出ス「ト」ヲ戸籍ニ記ス權ヲ失フ者ハ
 此例ニ非ス

第四條ノ定法ニ由テ府内ノ人各「ウ」ト「ト」ヲ出ス

27636

者ト云フ「ト」ヲ其戸籍ニ記シ其上ニテ左ノ條件
 ヲ以テ其議員ヲ定ム可シ

第二十一歳以上ニシテ都テ法律上障碍無ク註
 前ニ其生涯或ハ他人ノ生涯若シクハ何等ノ人
 ノ生涯上地家産ヲ所持スル者ヲ除キ年期ヲ限り
 テ借りタル土地田産等ヲ所持シ其事ニツキ訴
 訟起ルルハ其裁判局ニ於テ捕縛サレ或ハ其為
 メ諸税及ヒ諸費ヲ拂ヒ殘ル所尚年々五封度以
 上ノ價アル地産ヲ所持シ或ハ其為メ諸税及ヒ
 諸費ヲ拂ヒ年々殘ル所尚五封度以上ノ價アル

物ヲ元ト定ル約定ニテ其期ノ長短ニ関ラス六
 十年間以上取り結ヒ期限未タ終ラヌ又何等ノ
 約束ニラ所持スル土地及ヒ他ノ財産等ヲ人ニ
 貸シ或ハ任スルトヲ得ル人
 第二七月ノ晦日且撰擧ヲ受ケシ前十二ヶ月間
 十二封度以上ノ價アル府内ノ土地ヲ所持シ或
 ハ年期ヲ限リ之ヲ借リタル人
 第三府内住居ノ間其所有ノ品ニツキ窮民救恤
 ノ税ヲ拂フタル人
 第四同年十月ノ二十日正月ノ五日前所未有ノ品

ニツキ窮民救恤ノ税ヲ拂フタル人
 大ニ議員選舉ノ權ヲ擴充センカ為メ立テタル
 一千八百六十八年改革定法ニテ一千八百六十
 八年及ヒ一千八百六十六年ニ於テ「イギリス」
 「ウールズ」府縣選士ノ全數左ノ如シ
 「イギリス」及ヒ「ウールズ」ノ撰士
 一千八百六十八年
 府 百二十二万零七百十五人
 縣 七十九万九百十六人
 總計二百零一万二千六百三十一人

一千八百六十六年

府 五十一万四千零三十六人

縣 五十四万二千零三十三人

總計百零五万六千六百五十九人

府增 七十万零六千六百八十九人

縣增 二十四万九千二百八十三人

總計九十五万五千九百七十二人

此改革定法ニテ「イギリス」及ヒ「ウェールズ」

撰士ノ全數百万餘ヨリ二百万ニ増シ之ヲ細カ

ニ言ヘ八百ニ九十分半ノ割合ナリ而ノ之ヲ増

ス多クハ府ニアリ其撰士百三十七分ヲ以テ増

シ即チ前ヨリ一倍三分ノ一ナリ又縣ニテ増ス

數ハ唯四十六分ニシテ即チ府内選士三分ノ一

ナリ

蘇格蘭及ヒ愛爾蘭ノ集會ニ於テ一千八百六十

八年議決スル改革定法ハ樞要事件英吉蘭ト大

ニ違ヘリ其定法ニ據レハ縣内選舉ノ權ハ都テ

二十歳以上ノ男子ニシテ法律上障碍無ク又

困窮ノ餘リ貧民救恤税ヲ除カレ或ハ其税ヲ拂

フ能ハス若クハ十二ケ月中ニ寺院ノ救恤ヲ受

ケタル者ニ非サレハ十二ヶ月間家屋ヲ所持シ
 或ハ年期ヲ限り其家屋ヲ借リタル人ニ歸スヘ
 シ又別ニ居ヲ分テ同府ニ住居セ家具ヲ除キ年
 々十封度以上ノ價アル屋ヲ借リ十二ヶ月間獨
 リ之ヲ有チ且「ヴヲート」ヲ出ス者ト云フ「ヲ
 戸籍ニ記セシ者ニハ其撰擧ノ權ヲ與フベク又
 六ヶ月以上居住ノ為ノ費スモノヲ除キ尚五封
 度ノ價アル家屋ヲ所持スル縣人ヘハ「ヴヲート」
 ヲ出ス「ヲ」ヲ許スヘシ又愛爾蘭ノ改革定法ハ縣
 内撰擧ノ「ヲ」ニツキ更ニ變更ナシ然レモ「インギ

ランド」ニ於テ定メタル規則ニ應スル人ニシテ
 四封度ノ價アル家屋居住ノ縣人ハ其權ヲ得ヘ
 シ

一千八百六十七年並ニ一千八百六十八年ノ改
 革定法中撰擧ニツキ都テ古來ノ法律上須要ノ
 條件ヲ存セリ其條件ニ據レハ外人二十一歳以
 下ノ人狂人寺院ノ救恤ヲ受ケ或ハ死罪ニ坐セ
 ラレ若クハ獄ニ繋カル、等ノ人ハ「ヴヲート」
 ヲ出スノ權ヲ得ヘカラス
 齒未タ二十一ニ滿タサル者議員トナル能ハス

租稅證印稅等ヲ収ムル有司モ亦其撰舉ニ當ルヘ
 カラス又「イングランド」政府ノ記録官及ヒ合衆
 王國「イングランド」「アイルランド」「スコットランド」ノ裁判役英ノ上
 僧及ヒ下僧「ドクト」「ミスター」蘇ノ僧徒羅馬宗ノ僧侶政府ノ為ニ
 諸物ヲ調達スル人法令ヲ施行スル官及ヒ事務
 ヲ行フニハ其處ニ歸ラサルヲ得サル地方官等
 皆其撰舉ニ當ルヘカラス又英蘇ノ貴族ヲ
 下院ニ選フヘカラス唯愛ノ貴族ノ之其選舉ヲ
 受ケ外人及ヒ逆罪或ハ死罪ニ坐セラレタル者
 其撰舉ヲ受ケヘカラス下院ノ議員ヲシテ自ラ

其行ヲ立テ其志ヲ枉ケサラシメンカ為メ「ア」
 「シ」第六條ノ法ニ由テ議員別ニ王ヨリ官職ヲ受
 ケ利潤ヲ得ハ其席ヲ除キ新ニ令ヲ出シテ他人
 ヲ選フ「ト」ヲ得然レ共一千七百五年來ノ新官ヲ
 受ルニ非ラレハ再ヒ議員ノ選舉ニ當ル「ト」ヲ得
 ヘシ是收稅事務宰相ノ賜ニテ名ノ之ノ官ナル
 「チ」テ「ル」ン」百家ノ管事ヲ受ケ之ヲ辞スル「ト」能サ
 ル人ヨリ其任ヲ解カンカ為メナリ
 一千八百七十一年ノ集會ニ合衆王國ノ三大部
 ヲリ議員ヲ遣ル「ト」左ノ如シ

租稅證印稅等ヲ収ムル有司モ亦其撰舉ニ當ルヘ
 カラス又「イングランド」政府ノ記録官及ヒ合衆
 王國「イングランド」「アイルランド」「スコットランド」ノ裁判役英ノ上
 僧及ヒ下僧「オキシ」蘇ノ僧徒羅馬宗ノ僧侶政府ノ為ニ
 諸物ヲ調達スル人法令ヲ施行スル官及ヒ事務
 ヲ行フニハ其處ニ歸ラサルヲ得サル地方官等
 皆其撰舉ニ當ルヘカラス又英蘇ノ貴族ヲ
 下院ニ選フヘカラス唯愛ノ貴族ノ之其選舉ヲ
 受ケ外人及ヒ逆罪或ハ死罪ニ坐セラレタル者
 其撰舉ヲ受ケヘカラス下院ノ議員ヲシテ自ラ

其行ヲ立テ其志ヲ枉ケサラシメンカ為メ「ア」
 「第六條」ノ法ニ由テ議員別ニ王ヨリ官職ヲ受
 ケ利潤ヲ得ハ其席ヲ除キ新ニ令ヲ出シテ他人
 ヲ選フ「一」ヲ得然レモ一千七百五年來ノ新官ヲ
 受ルニ非ラレハ再ヒ議員ノ選舉ニ當ル「一」ヲ得
 ヘシ是收稅事務宰相ノ賜ニテ名ノ之ノ官ナル
 「チルテルン」百家ノ管事ヲ受ケ之ヲ辞スル「一」能サ
 ル人ヨリ其任ヲ解カンカ為メナリ
 一千八百七十一年ノ集會ニ合衆王國ノ三大部
 ヨリ議員ヲ遣ル「一」左ノ如シ

「イギリス及ヒ「ウエールス」

百八十七人 五十二縣並ニ「ウハイト」島

三百一人 二百府

五人 三大學校

總計四百九十三人

「スコットランド」

三十二人 三十三縣

二十六人 二十二府

二人 四大學校

總計六十人

「アイルランド」

六十四人 三十二縣

三十九人 三十二府

二人 一大學校

總計百五人

全國總計六百五十八人

一千八百六十九年議會ノ布告ニ云ク方今議員選舉配當ノ法ニ從ヘハ「イギリス」及ヒ「ウエールス」ハ四百九十三人「スコットランド」ハ三十人「ア

ルランド」ハ百二十人ヲ遣ルノ定メナリト雖氏若シ人口ノ多寡ニ由テ之準セハ「イギリス」及ヒ「ウエール」ハ四百六十九人「スコットランド」ハ六十九人「アイルランド」ハ百二十人ナルヘク租税ノ多寡ニ從テ之ヲ準スルハ「イギリス」及ヒ「ウエール」ハ四百九十六人「スコットランド」ハ九十三人「アイルランド」ハ六十九人ナルヘシ又兩數ノ中ヲ執リ之ヲ定メハ「イギリス」及ヒ「ウエール」ハ四百八十二人「スコットランド」ハ八十一人「アイルランド」ハ九十五人ナルヘシ

一千八百零一年一月一日英吉利愛爾蘭ト合併シ其院ト共ニ同月集會シテ事ヲ議シ之ヲ大議會ト稱シ一千八百三十三年一月二十九日ノ集會ヲ改革議會ト稱セリ
愛爾蘭合併以來合衆王國議院集會ノ長短左ノ如シ
第一次一千七百九十六年會ヲ興シ一千八百二年會ヲ散ス其間五ヶ年十一月十八日ナリ
第二次一千八百零二年八月三十日會ヲ興シ一千

八百六十六年十月二十四日會ヲ散ス其間四ヶ年一ヶ月二十五日ナリ

第三次一千八百六十六年十二月十五日會ヲ興シ一千八百六十七年四月二十九日會ヲ散ス其間四ヶ月十五日ナリ

第四次一千八百七十七年六月二十二日會ヲ興シ一千八百七十二年九月二十四日會ヲ散ス其間五ヶ年三月七日ナリ

第五次一千八百七十二年十一月二十四日會ヲ興シ六月十日一千八百七十八年會ヲ散ス其間五ヶ年六ヶ月

二十五日ナリ

第六次一千八百七十八年八月八日會ヲ興シ一千八百七十九年二月二十九日會ヲ散ス其間一ヶ年六ヶ月二十五日ナリ

第七次一千八百七十九年四月二十三日會ヲ興シ一千八百七十九年七月二日會ヲ散ス其間六ヶ年一ヶ月九日ナリ

第八次一千八百七十九年十一月四日會ヲ興シ一千八百八十年七月二十四日會ヲ散ス其間三ヶ年八ヶ月十日ナリ

第九次一千八百三十年十月二十六日會ヲ興シ
一千八百三十一年四月二十二日會ヲ散ス其間
五ヶ月八日ナリ

第十次一千八百三十一年六月十四日會ヲ興シ
一千八百三十二年十二月三日會ヲ散ス其間一
ヶ年五ヶ月二十日ナリ

第十一次一千八百三十三年一月二十九日會ヲ
興シ一千八百三十四年十二月三十日會ヲ散ス
其間一ヶ年十一月一日ナリ

第十二次一千八百三十五年二月十九日會ヲ興

シ一千八百三十七年六月二十八日會ヲ散ス其
間二ヶ年九ヶ月ナリ

第十三次一千八百三十七年十一月十四日會ヲ
興シ一千八百四十一年七月二十三日會ヲ散ス

其間三ヶ年七ヶ月九日ナリ

第十四次一千八百四十一年八月十一日會ヲ興
シ一千八百四十七年六月二十三日會ヲ散ス其

間五ヶ年十一月六日ナリ

第十五次一千八百四十七年九月二十一日會ヲ
興シ一千八百五十二年六月一日會ヲ散ス其間

四ヶ年十一月九日ナリ

第十六次一千八百五十二年十一月四日會ヲ興

シ一千八百五十七年三月二十日會ヲ散ス其間

四ヶ年四月十六日ナリ

第十七次一千八百五十七年五月三十日會ヲ興

シ一千八百五十九年四月二十三日會ヲ散ス其

間一ヶ年十一月二十三日ナリ

第十八次一千八百五十九年五月三十日會ヲ興

シ一千八百六十五年六月六日會ヲ散ス其間六

ヶ年一ヶ月二日ナリ

第十九次一千八百五十六年二月六日會ヲ興シ

一千八百六十八年六月三十一日會ヲ散ス其間

二ヶ年五月二十五日ナリ

第二十次一千八百六十八年十二月十日會ヲ興

シ未タ之ヲ散セス

夫レ議院ノ權カハ至大至重ニシテ其權合衆王

國及ヒ其屬州屬國內ニ行レリル所ナク未タ無

キ新法ヲ立テ既ニ有レ旧法ヲ補正廢棄スルヲ

ヲ得國法ヲ改革變更シ政教及ヒ文武ノ事ヨリ

シテ聴詔斷獄等ノ事ニ至ルマテ萬機ヲ統括ス
グレートブリテン「イギリス」スコット及シ愛爾蘭行政ノ
 大不列顛ランドノ總辦ナリ
 權ハ王ニ皈スルノ名アリト雖モ其實名省長官
ハネイ古ヘ樞密議官或ハ議王ト稱セシ者ノ職ヲ兼テ
 皆ライト「ライト」ノレブルノ尊稱ヲ帶ヒ智ヲ盡シ慮ヲ
 勞シ王ノ廟議ニ參與シ之ヲ維持シ決定ノ事務
 ヲ施行スルニ至リ而シテ其各省長官皆必ノラ
 ス上下兩院ノ中ニ出テ議員ノ問ヲ受ケハ速ニ
 之ニ答ヘ政府ト一體トナリ其為ス所ノ事件及
 ヒ其施ス所ノ處置ヲ説明ス議員之ト討論シ詳

ニ其事ノ宜シキヲ研究シ殊ニ下院議員過半數
 之ト同論協議セサレハ宰相其位ヲ保ツ能ハス
 退テ其職ヲ辞シ其在職全ク議員ノ意ニ在リ故
 ニ其選舉素ヨリ議員ヨリ出サレモ其廢黜ノ權
 議員ニ在ルヲ以テ現ニ之ヲ選フノ形無シト雖
 モ實ハ其權ヲ握ルニ異ナラス首輔宰相ハ會計
 事務ヲ統括スル者ニシテ時アツテ租稅事務ヲ
 兼ス則チ各省長官ノ長タル者ナリ而シテ首輔宰
 相人ヲ王ニ薦ノ以テ宰相ニ任シ專ラ各省ノ事
 務ヲ掌ラシム又王眷顧特賜スル所レ官職ト雖

氏自ラ之ヲ人ニ分與スルヲ得ルヲ多ク眷顧特
 賜トハ時アリテ有用ノ人堅ク其職ヲ辞シ之ヲ
 止メテ止ル能ハス或ハ勤勞年ヲ積ミ其功己ニ
 著シク齒モ亦老ヒ事ヲ執ル能ハサル者ヲ優待
 スルトアレトモ多クハ寵臣ヲ愛シ私恩ヲ市ヒ之
 ニ勞勲フシテ報多ク若シタハ名有テ實無キ職
 ヲ命シ大ニ利潤ヲ得セシムルナリ
 各省ヲ設ル毎ニ必ナラス左ノ事務執政ヲ立
 ツ則チ會計事務宰相大璽官樞密議長樞密官和
 稅事務宰相内國事務宰相属州事務宰相印度事

務宰相陸軍事務宰相等はナリ尚他ニ事務宰相
 アリテ通常席ヲ省内ニ取ル其數五人ヨリ八人
 ニ變リ始終一定セス就中百工事務宰相海軍事
 務宰相通商事務宰相樞密議官副長驛遞事務宰
 相愛爾蘭事務宰相救民事務宰相等はナリ而ノ
 其位高ク或ハ才徳頗ル顯著又時ノ輕重ヲナシ
 或ハ須要ノ助ケヲ與ヘ若クハ其用省内ニ願ハ
 シキ人ヲ舉テ以員ニ充ルト云フ
 一千八百六十八年十二月九日ニ肇リ一千八百
 七十年并ニ一千八百七十一年ニ改リシ現今ノ

各省官員左ノ如シ

會計事務宰相 大璽官

樞密議長 樞璽官

收稅事務宰相 內國事務宰相

外國事務宰相 屬州事務宰相

印度事務宰相 陸軍事務宰相

海軍事務宰相 通商事務宰相

愛爾蘭事務宰相 教學事務宰相

地方事務宰相 驛遞事務宰相等是ナリ

英國憲法終

林正明先生譯書目 求知堂藏板

租稅全書 定價金一兩二朱 全六冊

此書ハ年貢運上の始る譯柄より直税間税海關税賦入税其外地面
家作并小物品税證印稅等の事小至々迄其理合と方法とを説き明
且密賣の弊害より密賣小處まゝの方法まで詳小論トある方今
の大緊要から書かり

萬國政談 同 金三分 全四冊

此書を政治の因て始る所より當今五大洲各國小行ハる、政事向
と残るを合して万邦の風土人情の同トからざる故政體も亦自ら
異ふるを以て之を一書小引纏めたる珍書なり

合衆國憲法 同 銀八匁五分 全一冊

此書ハ亞米利加合衆國を建て始まるに年創業の豪傑華盛頓等國政を万代不朽の傳へんが為小立する法を譯述せしもの小て國家の制度を學ばんと欲する者必用の書かり

英國憲法 同 銀八匁五分 全一冊

此書ハ先小先生著と所の合衆國憲法と合して王政民政の由て立つの譯柄を論せし者小て前後合せ讀て政事の綱領を知るをき大切の書かり

合衆國史記 同 金一分一朱 全二冊

此書ハ合衆國を建るの以前より近世小至るまで風土氣候の變り合戦和議交易製産等の事と記載して實小新世界の事情を知らんと欲する者第一小目と注ぐべき書かり

政學提綱 同 金三朱 全一冊

此書各國政治の大略と書記せしものよて政體の要を早く知り得べき大切の書かり

泰西新論 同 金三朱 全一冊

此書ハ先生多年郡書を涉獵し訣博の學識を以て海外諸國小周遊し其風土人情と始め萬事を實驗して感する所ありて著ハせら適切の書小て其政体租稅教育等の事ハ別段小明詳と尽して著しよるものあり

政治畧論 同 銀二匁五分 全一冊

此書ハ先生海外諸國小留學し平生の積學を以自ら實小其國の風儀を見て政治の事と記し専ら英吉利亞米利加の例を引て立君と共和政との利害得失と論せる大切の書かり

合衆國憲法

同 銀八匁五分

全一冊

此書ハ亞米利加合衆國を建て始まる此年創業の豪傑華盛頓等國政を万代不朽の傳へんが爲小立する法を譯述せしもの小て國家の制度を學ばんと欲する者必用の書かり

英國憲法

同 銀八匁五分

全一冊

此書ハ先小先生著と所の合衆國憲法と合して王政民政の由て立つの譯柄を論せし者小て前後合せ讀て政事の綱領を知る愈き大切の書かり

合衆國史記

同 金一分一朱

全二冊

此書ハ合衆國を建つ以前より近世小至るまで風土氣候の變り合戦和議交易製産等の事を記載して實小新世界の事情を知らんと欲する者第一小目を注ぐ愈き書かり

政學提綱

同 金三朱

全一冊

此書各國政治の大略を書記せしものよて政體の要を早く知り得愈き大切の書かり

泰西新論

同 金三朱

全一冊

此書ハ先生多年郡書と涉獵一談博の學識を以て海外諸國小周遊其風土人情と始め萬事と實驗して感する所ありて著ハせる適切の書小て其政体租稅教育等の事ハ別段小明詳と盡して著しよるものあり

政治畧論

同 銀二匁五分

全一冊

此書ハ先生海外諸國小留學一平生の積學を以自ら實ハ其國の風儀を見て政治の事を記し専ら英吉利亞米利加の例を引て立君と共和政との利害得失と論せる大切の書かり

求知堂藏版

製本弘通所

東京本石町二丁目

江島萬笈閣

書林

椀屋喜兵衛



經濟入門
 此書は、財貨生産の方法土地の力作財本の功用貿易租税其外、
 金銀の融通を便し、凡そ財用の事、書き記され、云事なく、當時、
 國小學校小用、由る書よ、て、經濟學の要領を掲げ示したる、
 要の書あり

同 全四冊

日本目録

江島萬笈閣藏

終